

平成 30 年度 第 1 回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会 場 平成 30 年 4 月 26 日（木）午後 7 時 00 分～9 時 00 分 市役所 202 会議室
出席者 長瀬議長、谷部副議長、稲垣委員、二ノ宮リム委員
中村委員、吉村委員
欠席者 西尾委員、並木委員、佐藤委員、松本委員
事務局 伊藤社会教育課長、吉村社会教育係長、来住野社会教育主事

1 開 会

<配付資料>

資料 1 平成 30 年度春の文化財行事について

資料 2 平成 30 年度青少年とともにあゆむ地区委員会 スポーツ大会日程

- ・昭島市月間行事予定表 5 月
- ・「地域と学校の協働」を推進する方策について（中間まとめ）
- ・昭島市市民意識調査概要版（平成 30 年 2 月）
- ・市民の学習と都市の生活—東京都昭島市社会教育調査—（抜粋）
- ・あきしま公民館だより No. 185
- ・平成 30 年度版 あきしま学びガイド

2 報 告

（1）平成 29 年度 第 3 回小学生国内交流事業運営委員会について （3/26）

委 員 平成 30 年度の事業報告、反省、アンケート結果について報告があった。出席対象者 10 名の内、出席者は 3 名だった。事業への参加児童は、昭島からは 21 名（前年度より 7 名増）、岩泉町からは 23 名（前年度より 3 名増）と増えたことはよかった。ただ、ホームステイの受入れは、21 世帯中 13 世帯が 23 名の子どもたちを受入れるという状況。事務局側は調整にご苦労されたと思う。受入不可世帯が年々増加していることを懸念している。受入れしなくてもよいという認識が広がっていることがあげられる。市役所での事前研修や対面式の際、付き添いの保護者のために託児サービスがあるとよいのではという提案があった。複数名の子どもの受入れをしてくださったご家庭には、食事代等の費用のサポートが必要ではないかと提案した。この事業の継続のための提言として、4 つほどあげた。①ホームステイは 1 対 1 の受入が原則である。自宅でなくても、双方の児童が宿泊できる受け入れ可能先を見つけてはどうか。受入ができない場合は、5 回分の食事代等を徴収し、均等配分してはどうか。②施設見学については、アンケートでも印象が薄い。昭島市内の見学先は 3 年連続同じなので、検討する必要がある。③保護者のアンケート回収率の向上。④引率者の歓迎会には岩泉では非常に多くの方が出迎えてくださるので、昭島でも多くの方が参加できる工夫をお願いしたい。以上だ。

議 長 以前、団長で行ったことがあるが、当時は児童 36 名ずつの参加があり、ホームステ

イも当日体調が悪くなったなどの理由以外、基本双方受入れを行った。様々な事情で緩和されてきたのかもしれない。受入れ側への金銭的なサポートについては、お金を払えば受け入れをしなくてよいという考え方がおきないよう、慎重に検討していただきたい。双方の受入れが原則である方がよい。いい方向での継続を期待したい。

(2) 平成 30 年度 東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について (4/21)

議長 出席された委員から感想をお願いしたい。総会については 1 件の質問が出たが、すべて承認された。

委員 研修会の話題では「長い箸」の逸話がとてもよかった。「人のために」というところが今の社会教育関係にとって大切な要素だと思った。先日テレビ番組で、イルカとチンパンジーと人の脳と体の割合等について比較をしていたが、チンパンジーよりイルカの方が上であるようだ。チンパンジーは道具を使うが、それは自分のため。一方イルカは尾ひれで小魚を失神させて、仲間のイルカに食べさせるということをするそうだ。

委員 研修会はとてもよかった。平均寿命が今の子どもたちは 100 歳になるということが社会的にどういう意味を持つのかをデータで見て、考える機会になった。社会の状況も変容していかなければならないとわかる。これまでと同じやり方では難しくなると感じた。どうすればいいのかがわからなかったので、さらにお話を聞きたい。

委員 今の社会は、人生 60 年くらいまでのものを想定されて様々な仕組みが作られており、それを変えていかなければいけないときに、どうすればよいのかが見えていないとわかった。寿命が長くなってくるということは、より豊かに生きるために社会教育は重要になってくると思う。一方、最近の社会教育の位置づけが議論されていく中で、不安に思う面もあった。

委員 格差社会が進んでいることについて、具体例を示されたのでショックを受けた。夏休みを終えた子どもたちが、学校に戻ってくると痩せていることがあるというのは衝撃的だ。実際にそういう事例は我々が知らないだけで、現場では起きているのだろうが、情報をつかみにくいと感じる。人口ピラミッドが完全な逆ピラミッドになっているということもわかった。文科省等の組織改革の方針では、生涯学習や社会教育という言葉がなくなっていきようだが、どういうふうに変化していくのか示されていないので、不安の方を強く感じた。

議長 ぜひ、続きの研修会をお願いしたい。都市社連協事務局への提案をお願いしたい。とてもわかりやすいお話だった。

(3) 環境緑花フェスティバルについて (4/22)

委員 意外に多くの人々がクジラの化石に関心が高いことを実感できた。

議長 事前学習のおかげで、質問等にも答えられよかった。これまでアキシマクジラを大事にしてきたことがよかったのだと思う。またアキシマクジラで盛り上がればよいと思う。

委員 講演会の中で、「アキシマクジラは世界で一番愛されているクジラの化石ではないか」とのお話があり、改めてそれはすごいことだと思った。クジラの帽子も大変な人気で、

多くの方に気に入ってもらえたようだ。

(4) 平成30年度 春の文化財行事について (資料1)

事務局 5月3日(木・祝)に、史跡案内を行う。本来は、東京都指定天然記念物「拝島のフジ」の開花時に合わせて行うのだが、今年は開花が例年よりかなり早く、今が一番見ごろとなっている。新聞にも掲載されたので問い合わせも多い。大日堂や日吉神社を文化財ボランティアガイドが案内する。(少雨決行)

(5) 平成30年度 青少年とともにあゆむ地区委員会 スポーツ大会日程 (資料2)

事務局 日程については資料のとおり。社会教育委員としてご参加の際は、本部にお声掛けいただきたいとのことだった。

(6) その他

事務局 5月1日から10月31日まで、軽装で業務にあたらせていただく。

3 議 題

(1) 研修会「市民のニーズを活かす・つなげるあきしま会議」(5月19日開催)について

議 長 先日、講師の近藤先生と打ち合わせを行った。参加者を多く得るため、社会教育委員の皆さんの関係されるところへのお声がけをお願いしたい。当日参加者をいくつかのグループにわけて進行する。皆さんも、それぞれグループに分かれてもらい、自分の活動の報告などをしてもらいたい。何人かの方には、グループのファシリテーターをお願いすることになる。

事務局 今回の研修では、小グループに分かれ事例報告を聞き合うことをメインとする。市内で展開されている様々な活動の話話を語ってもらうこと、聞くことによって、さまざまな相乗効果が期待できる。ひとつひとつ今までのことを振り返ることが、活動の価値を明らかにし、次につながる手掛かりとなると考えている。

委 員 対象なる組織や団体はどういうところか。

事務局 年ごとに役員等が変わっていくような流動的な団体ではなく、主体的に継続して行われている団体を対象とする。

議 長 このワークショップも今後継続し、それぞれの方が再び参加してもらえるなど、その時にどういう変化があったのかを見ていくことができる。それは、市民のニーズがどう活かされてきたかの把握にもつながる。自分たちのコーディネーターとしての力量形成につながる。

委 員 なんらかの地域活動にコミットしている方に経験をお話ししていただきたいので、その方々を集めるのが大変になるかと思う。

議 長 事前の打ち合わせを5月17日の午後3時より603会議室で行う。

(2) 建議「市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習推進のための社会教育の役割（仮）
について

議 長 まだ評価が終わっていない事業について、グループに分かれて検討してもらいたい。

委 員 親子米作り農業体験教室について、計画としては20組限定ということだが、ここ数年は参加人数が増加していて、最大29組の親子が参加している。アンケートでの評価も高い。体験活動であることもよい。参加者のニーズにも応えられていると思われる。

委 員 他の農作物の体験もいいかもしれない。

議 長 親子で自然に触れ合えるのはよい。

委 員 「昭島市リーダーズクラブ」は、中学生リーダー講習会を終えた中学生を対象としているが、講習会参加者が少ないと書かれている。中学生は、部活動や受験で忙しいのかもしれない。また、小学生を対象にレクリエーションや野外活動の指導補助とあるが、もう少し地域のリーダーということを踏まえるのであれば、地域の課題に取り組むような内容になってもよいのではないか。続いて、「子どもと親の家庭教育講座」について、改善点として、講座開催数の激減があげられている。激減の理由がわからなが、周知方法ではなく、ほかのところに要因があるのではないか。最後に、「子育て仲間づくり『くじらっこ』」について。利用者アンケートに基づいて、対象者を0歳児に設定したとなっており、参加者数も多く、発達の状況等に合わせて、段階的に展開しているようだ。今後発展を考えるのであれば、こういう情報を得られない状況の方へどのように働きかけていくのかを考えていけるとよい。

議 長 「地域や家庭の教育力向上」と書かれていても、どういう教育力なのかというのがわからないと感じる。

委 員 最近では、PTA全体で保護者に呼びかけて何か講座をやろうというのはなかなか難しいものだと思う。

議 長 5月は研修会等でご協力いただくことも多くなるが、本日の会議はこれで閉会する。

次回

5月24日（木） 午後7時より 市役所203会議室

6月28日（木） 午後7時より 市役所202会議室

その他

5月17日（木） 午後3時より事前打ち合わせ 市役所603会議室

5月19日（土） 研修会「市民のニーズを活かす・つなぐ あきしま会議」
午後1時から4時 市役所602・603会議室